

映画「日本の青空」上映会 盛況でした！（2007. 11. 21） ご協力ありがとうございました

狛江市の九つの団体が共同して作った実行委員会で主催した「日本の青空」上映会。当日は、2回の上映に900名ほどの参加者があり、盛況のうちに終了することができました。

この実行委員会では、「平和憲法を広める狛江連絡会」や「こまえ九条の会」の世話人が中心的な役割を果たして来ました。

日本国憲法の制定過程で、鈴木安蔵たち民間の憲法研究者の考えが色濃く反映されたこと、悲惨なアジア太平洋戦争の反省に立って戦争放棄の第9条が入れられたこと、などが詳細に描かれた映画の内容に来場者の皆様から多くの感動の声をいただきました。



また、映画の中で、憲法学者＝高野岩三郎を演じられた加藤剛さん（俳優座）が2回にわたりご挨拶くださり、映画監督＝木下恵介さんの言葉を引いて、非戦の理想を高く掲げた日本国憲法の価値を話され、会場に大きな共感の輪が広がりました。

私たちは、この映画上映を通じて日本国憲法の価値を改めて認識し、今後もこの価値を大切に掲げ保持していく活動を継続して行きたいと思っております。

ご来場いただいた皆様、宣伝にお力添えいただいた皆様、ご協力本当にありがとうございました。



加藤剛さんの挨拶を聞く聴衆

加藤剛さんの挨拶（抜粋）

私たちは、共通の、何物にも換えがたい大きな財産を持っております。もちろん申すまでもなくそれは『日本国憲法』です。『日本国憲法』第九条は人類史が到達した最高の叡智です。決して譲り渡してはならない大きな財産です。（拍手）憲法九条を思うとき、私はいつも心から尊敬する大好きな映像作家が残されたラストメッセージを思わずにいられません。あの名作『二十四の瞳』や『この子を残して』の映画を世に残された映画監督木下恵介先生です。「せめて、せめて、です。せめてわれわれが平和憲法を守りぬかなければ、愚かな戦争で死んだ人たちの魂は安らかに眠れません。それが《誓い》であり、《手向け》です。木下恵介。」先生はすべての作品の中で、戦争への憤りを、決して露にではなく、静かに、しかしながら燃えるように表現されています。それが芸術家としての先生の一生を貫く創作態度でした。

先生が世を去られてからもう九年にもなろうとしていますが、この数年間、憲法九条は大きな波に洗われています。今にも津波がやってきそうです。先生もきっととくにこの津波の音に気づいていらして、安らかに眠れないでいらっしやるでしょう。先生に代わって何か言いたい、叫びたい。木下恵介監督の作品に8本も出演してきた俳優として、私も何か叫びたい、そんな思いで、今ここにこうして立っています。

先生が世を去られてからもう九年にもなろうとしていますが、この数年間、憲法九条は大きな波に洗われています。今にも津波がやってきそうです。先生もきっととくにこの津波の音に気づいていらして、安らかに眠れないでいらっしやるでしょう。先生に代わって何か言いたい、叫びたい。木下恵介監督の作品に8本も出演してきた俳優として、私も何か叫びたい、そんな思いで、今ここにこうして立っています。

上映会参加者からのアンケート（抜粋）

回答数：91人

- ・とても面白かったです。知っていることと知らないことがない交ぜになって、ジグゾーパズルの全体が一つに完成したように思います。
- ・素晴らしい映画でした。戦後青春時代だった私は恥ずかしいことに政治にほとんど関心を持っておらず今日この映画を見ることができて本当に良かったと思いました。有難うございました。
- ・押し付け憲法の“まぼろし”という本を読んでいたが、映画で憲法史の真実を痛感し、自分の生き方として

- 9条を守る決意を新たにしました。
- ・とても“良い映画”でした。日本人の草案の話はなんとなく聞いてはいたものの——しっかり分かって本当によかった。中学校時代憲法を習ったとき身体が震えるほど感動したことを思い出してまた感動しました。
- ・大変勉強になりました。日本人が作ったことは知りませんでした。GHQと思っていたのです。若い人のアイディア、フレッシュでした。
- ・憲法はアメリカからの押し付けと思っていたので、これを見て意外な事

実に驚いた。平和憲法についての先輩の方々の思いを改めて知らされた映画だった。

- 日本国憲法がわが国の多くの関係者によって草案が作られたことは知っていたが、これほど鮮明に、進歩的な日本の人々の手によってなされていたことはこれまで知りませんでした。すごく感動しました。言葉ありません。
- GHQが一方的に押し付けたのではなく、多くの人々（日本人）の叡智があった。日本人の魂として誇りを持つことができた。
- とても面白くまたしっかり心にしみ込んできました。憲法はそれ自体とても貴重なものなので、成り立ちは関係ないと思っていました。しかし、この映画を見て、憲法が成立したのはそこに至るまでの必死の思いと強い思いがあったからと知り、憲法の重さを新たに認識しました。映画を見てよかったです。たくさんの人に見てほしいです。
- とても感動しました。日常に追われてつい忘れがちなことですが、永久平和を希求する日本国憲法を改悪しないよう国民みんなで力を合わせるべきと思います。
- 決して譲り渡してはならない日本の大きな財産！！国民の手で、私達の手で、時代に継いでいかなければならないと心から思った。終戦のとき千駄ヶ谷で戦災に遭って無一文にな

ってしまった。あのときから私は反戦主義者になった。（小学校6年生の時だった。）

- 分かりやすくとてもよくできた映画だと思います。加藤さんの熱いメッセージも素晴らしかったです。
- 加藤剛さんのメッセージ、その力強さに私たちもこれから頑張っ伝えていこうと思います。
- 2度目です。“日本の知性”に改めて深い尊敬と感動を覚えました。「人類史の到達点」に確信を持って、加藤剛さんのお言葉を胸に噛み締めて更にいっそう頑張りたいと思います。
- 憲法草案を作るために民間で多様な話し合いが行われていたことがわかった。今ではあまり意識されることもなくなっている憲法条文への思いや大切さを感じた一方で、なぜあのようなアメリカが今は日本の軍国化をサポートするようになっていったのかと思う。
- 素晴らしかった。感動して涙が出た。日本国憲法は世界にない唯一の平和憲法だ。日本社会はますます右傾化していく中で、この映画を見て歯止めとしたいものです。



写真展

「戦禍の子どもたち」 イベント西河原にて開催 2月23日(土) 24日(日)

(10時～16時)

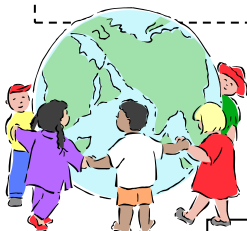
西河原公民館 1階ロビー

戦争で犠牲になるのは、幼い子どもたち。東京大空襲で、沖縄戦で、そしてイラクで、戦禍に遭っている子どもたちの姿から平和を実現することの大切さをもう1度皆さんとご一緒に考えてみよう企画しました。

皆さんどうぞいらして下さい。

主催

「平和憲法を広める狛江連絡会」・
「こまえ九条の会」



こまえ九条の会

9の日行動(署名集め)

狛江駅頭 ぜひご参加を

毎月9日と19日

土、日曜日の場合、午後3時～4時

月～金曜日の場合、5時半～6時半



前回同封しました「憲法改悪に反対する署名」は随時国会に届けられておりますので、お手持ちの方はご署名の上お送りください。

「九条世界会議」と 世界会議に向けたPeaceWalkに 参加しましょう

同封のチラシにありますように2008年5月4日～6日に開催される「九条世界会議」に向けての準備が始まっています。チラシにあるような様々なやり方で参加できます。

狛江でもこのイベントと一緒に参加できる方法を考えています。次回のニュースレターでお知らせいたします。

あなたも大切な一歩を踏み出してみませんか。

会費納入のお願い

いつも当会をご支援くださり有難うございます。会費やカンパ、切手の提供など皆さんのお力添えで会の活動が維持されています。

「平和憲法を広める狛江連絡会」の会員になってくださっている方には、今回振込用紙を同封させていただきました。引き続き2008年の年会費1000円をお振込みいただければ幸いです。お近くに関係者がいる場合は、手渡していただいても結構です。

また、新たに会員になってくださる方がいらっしゃいましたら次の振込先に1000円を振り込んでいただければ幸いです。なおご自由な額でカンパという形でも随時受け付けております。

【振込先】00160-8-607928

加入者名

「平和憲法を広める狛江連絡会」